

同窓会定期総会・役員改選 中村一郎氏勇退 新会長 小林磨史氏



前会長 中村一郎氏



新会長 小林磨史氏

前同窓会長 中村一郎 (S37卒)

この度、一身上の都合により松本美須々ヶ丘高等学校同窓会会長を退任させて頂いたこととなりました。平成二十四年六月に福島昭子前会長からのバトンを受け継ぎ就任させて頂きました。このような大役をお引き受けして本当に良いのか、重大な責任を果たすことができるのか、私なりに随分悩みました。しかし、在校時から考えますと、母校には公私に亘りいろいろとお世話になってきたと思ひ、何らかの形で恩返しをしなければと考えお引き受けすること致しました。結果、多くの皆様方の絶大なるご協力をいた

同窓会長退任のご挨拶

だくことになりました。私一人では何もできなかったと、つくづく思っています。改めて心から感謝申し上げます。私にとりましては長いような短いような六年間でありましたが、このところの体調不良が影響しましてこのまま続けることが皆様に多大なご迷惑をおかけすることになると考え、続投が不可能と判断しました。

会員の皆様にご満足いただけるような結果が出せなかったのが悔いの残るところであります。

私の就任時の課題としましては、第一に定期総会への出席者増による活性化を目指した同窓会ホームページのリニューアルがありました。その効果もありませんが、総会への出席者が安定

的に増加したことも大変ありがたいことと感謝致しております。そして、十三年ぶりに会員名簿を発刊して会員の輪を広げ、また、在校生の部活動等の利便性を高めるためのマイクロボスの購入と貸与、これらのことを成し得ましたのも、会員の皆様の多大なご協力を賜りました結果と思っております。

今後、若返りが図られた小林新会長のもと、私には取り組むことができなかつた、各種テーマに精力的に積極的に取り組んでいただけるものと信じております。

松本美須々ヶ丘高校の今後の益々のご発展とともに同窓会の飛躍を祈念致しまして、退任のご挨拶とさせていただきます。

就任のごあいさつ

同窓会長 小林磨史 (S48卒)

同窓会員の皆様、こんにちは。平成最後の新年を寿ぎ、初春のお慶びを申し上げます。

私は、昭和四十八年卒業、六十四歳の午年です。高校時代は野球部に在籍し、ヘボ投手をしていました。現在も母校野球部のOB会長をしています。

前任の中村会長の志を引き継ぎ、楽しく活発な同窓会の運営をめざしてまいります。

私が同窓会に関わったのは平成十七年。母校創立百周年の準備で招集がかか

りました。当時の会長は、現在顧問の福島昭子氏。記念すべき百周年事業は、元県議の山元秀泰実行委員長を筆頭に、同窓生が百数十名集まり実行委員会が組織され、大勢の同窓生から物心両面のご協力を頂き、平成二十一年十月に記念式典や記念事業が盛大に挙行されました。同窓会館の役割を果たす「美須々教育会館」もこの時に落成しました。当時の福島会長をはじめ女性会員の活躍は、男女共学の元祖、美須々らしく誇らしいものであります。

その百年の勢いを受け継いだのが中村一郎前会長。学校当局やPTAと協力し、現役生のため「美須々ヶ丘セミナー」「双

蝶祭での豚汁提供」「校内整備事業」などの事業を定着させ、新たに「同窓会ホームページ」の充実を図り、一昨年は念願であったマイクロボスを購入し母校に貸与することができました。絆を繋ぐ定期総会の参加者も、同窓生のコンサートなど、斬新的な趣向で毎年拡大傾向にあります。

私は、前任のお二人の活躍をすぐ側で体験させて頂いたとき、心から敬意と感謝の念をお伝えし、私も大好きな母校のため、同窓生の皆さんと一致団結し、歴史の糸を紡いでいく所存でございます。

皆様の益々のご健勝と、ご協力を重ねてお願いし、就任のご挨拶とさせていただきます。



第14号
2019. 2. 8

発行
長野県松本美須々ヶ丘高等学校同窓会
〒390-8602
長野県松本市美須々2-1
長野県松本美須々ヶ丘高等学校内
TEL・FAX (0263) 33-2560 (事務局専用)
ホームページ
<http://www.misuzu-dosokai.jp/>
メールアドレス
jimmu@misuzu-dosokai.jp

印刷 SALAT (株) サラト
Sajat Corporation

私たちの同窓生

会員数 35,194人
在校生 874人
(男407、女467)

平成30年4月現在

前身学校

長野県市立松本女子職業学校
長野県松本高等家政女学校
長野県松本市立高等女学校
長野県松本市立中学校
長野県松本市立女子商業学校
長野県松本市立高等学校

百周年からの十年と それから



校長 保坂 美代子

平成三十一年を迎え、平成の元号の下で発行される同窓会報は今回が最後となりました。同窓会員の皆様には、各方面にて益々ご活躍のことと存じます。また、日頃から母校の教育活動に対して物心両面での多大なご支援を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今年、本校は創立百周年を迎えます。平成二十一年の盛大な百周年祝賀行事から十年、今回は記念式典等は予定されておりませんが、十年の節目として母校の教育環境充実のために様々なご支援をいただいております。特に、近年の学校教育を巡る激しい変化に対応するためにはICT環境の整備が急務であり、県予算では十分な対応が難しい部分について同窓会のご援助をお願いしているところとです。

平成二十一年三月に発行された生徒会誌『双蝶』を開くと、橋詰治明校長が巻頭言の中で、創立百年の年に当たり戦後の社会を振り返りながら当時の世相を考察しています。当時はまだ、バブル崩壊後の「失われた二十年」と呼ばれる経済不況の中にありましたが、その後の社会や人々の意識の変化を思うと、十年という歳月の重さを改めて考えさせられます。百二十周年に向かう今後の十年では社会の変化は加速度的に進み、学校のあり方や学びの形態も大きく変化することが予想されます。

最近教育の世界では、今の子どもたちが大人になって活躍することになる未来社会のイメージが度々取り上げられます。「超スマート社会」とも形容されるそこでは、全ての人とモノがインターネットで繋がり、膨大な情報をAIが分析して必要な場面でも最適な情報が提供され、ロボットや自動運転によって人間の労働が大幅に軽減される等の、今はまだ実験段階のような技術が日常のものになると言われています。十年前には夢だった世界が、次の十年では現実になるのかもしれない。

しかし人間の成長という場面を考えると、変えられない部分や全ての時代に共通する普遍的な要素もあります。先が見えない時代と言われますが、守っていくべきものの重要性を肝に銘じ、教育の本質を見つめながら百二十年への歩みを進めたいと思います。

昨年は、中村前会長のご勇退と小林新会長のご就任という、同窓会にとって節目の年でありました。中村様にはこれまでの豊富なご経験を基に、今後顧問としてご指導をお願いするとともに、小林新会長の下で同窓会が益々発展することを祈念申し上げてご挨拶いたします。

皆様の御支援に感謝 申し上げます

事務長(会計担当) 小山 哲也



昨年四月に松本美須々ヶ丘高校事務室へ赴任し、同窓会の会計事務を担当しております。よろしくお願ひします。

平成六年から六年余り、松本合同庁舎で勤務していたこともあり、風光明媚なこの松本平の地で、再び仕事ができることとなり、大変うれしく思っております。

さて、同窓会におかれましては、昨年度に引き続き母校支援の一環として、クラブ活動に使用する備品の整備や老朽化した用具の更新のほか、今年度は、さらにプロジェクトや実写投影機など、学習教材を活用するための機器整備に対しても御支援をいただいております。改めて感謝申し上げます。

歴史と伝統ある松本美須々ヶ丘高校で、多くの生徒が勉学・運動に励み、悔いのない高校生活を送ることができるよう、本校の教育環境の改善に向けて引き続き取り組んでまいります。

同窓会理事に就任にあたり

理事 青柳 浩一郎 (H3卒)



この度二〇一八年度の総会にて理事に選出されました。今後微力ながら同窓会の発展に寄与できればと思っておりますのでよろしくお願ひします。私は、平成三年に卒業して東京に進学、就職をして平成十七年に地元に戻ってきました。同級会の開催は度々あったようですが、仕事柄出席が難しく、なかなか母校を意識する事ができずにいました。同じ部活だった同級生に誘われ

て、まず部活の集まりに参加、その後同窓会の総会に参加と、徐々に母校に関わりも持つようになりました。同窓会の総会に出席すると、先輩・同級生・後輩達に合う事ができ、美須々々の卒業生の多さ、又それぞれの分野でのご活躍に驚きました。同窓会理事として、在校生の行事に参加させていただき、在校生の学校生活の充実を感じさせていただきました。今後美須々々の一員を意識して同窓会活動を行っていききたいと思っております。

音楽の力で感動を

理事 大野 一夫 (H3卒)



今年度より、伝統ある母校の同窓会理事という大役を仰せつかりました。私は、平成三年卒業、サッカー部でした。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。さて、私は吹奏楽が大好きで、毎年九月に行われる母校の吹奏楽部の定期演奏会は、とても楽しみにしております。第三十八回の時に初めて聴きに行きまして、その時からすっかりファンになってしまいました。後輩たちの若いエネルギーと素晴らしい演奏に、毎年感動と元気をいただいております。その後輩たちに刺激を受け、私も感動をいただくのではなく、与えられる側になったのやら、なんて幸せなことだろうと思ひ、数年前から楽器の練習に励んでおります。いつか私も自分の演奏で、人々に感動をお届けできたらと思っております。最後に、誠に微力ではございます

が、母校発展の為に力を尽くして参りたいと思ひます。

美須々々の為に

理事 田島 学 (H3卒)



私が美須々々の理事にお願いされたのは、二〇一八年四月の事でした。年に一回の総会に出ても他に何もせず活動もしていない自分が引き受けても良いものかと考えましたが、裏方として応援させて頂く事を決めました。それに今年は同窓会の当番年で集まり有志で話し合いをしたりしました。同期会の集まりの方が集まるのか、声をかけるならいつから動かなくてはいけないかなど課題が多く、役員の皆様のご苦勞は毎年尽きないと痛感致しました。無事総会も終わり、理事としてはまだまだありますが、いつでも心の中にある高校生活と、友人や後輩、諸先輩方に恥じぬように母校の為、微力ながら関わらせて頂きます。



平成30年度 長野県松本美須々ヶ丘高等学校 同窓会定期総会

《会議次第》

- 1 開会のことば
2 同窓会会長あいさつ
3 学校長あいさつ
4 同窓会顧問あいさつ
5 同窓会参与あいさつ
6 議長選出・議長就任あいさつ
7 議事録署名人の委嘱
8 議事
第1号議案 平成29年度事業報告について
第2号議案 平成29年度決算報告及び会計監査報告について
第3号議案 平成30年度事業計画(案)について
第4号議案 平成30年度予算(案)について
第5号議案 役員の変更について
9 議長退任あいさつ
10 報告事項
(1) 学校の近況について
(2) 同窓会会員名簿について
(3) その他
11 閉会のことば

平成29年度 事業報告

- 平成29年
4月 6日(木) 入学式に正副会長出席
7日(金) 学校職員歓迎会に正副会長出席(ガーデンヒルズ迎賓館)
5月 13日(土) 第1回三役会を開催(ホテルニューステーション)
第1回理事会を開催(ホテルニューステーション)
6月 6日(火) 第2回三役会を開催(美須々教育会館)
第2回理事会を開催(美須々教育会館)
8日(木) 「ようこそ母校へ～先輩の話を聞く会～」を共催
17日(土) 同窓会定期総会を開催(松本東急REIホテル)
7月 8日(土) 双蝶祭一般公開日に豚汁サービスを実施
9月 2日(土) 学校環境整備共同作業を実施(図書館前廊下等壁塗り、グラウンド整備)
10月 14日(土) 同窓会から学校へのマイクロバス貸与式
第3回三役会を開催(美須々教育会館)
10月～12月 美須々ヶ丘セミナーを開催(信州学講座3回開催)
第1回「イオンモールと松本①」(10/10)
第2回「留学生から見た松本」(11/14)
第3回「イオンモールと松本②」(12/19)
平成30年
1月 26日(金) 第4回三役会を開催(美須々教育会館)
第3回理事会を開催(美須々教育会館)
2月 8日(木) 同窓会報第13号を発行
2月 19日(月) 第2回「双蝶会」を開催(ホテルモンターニュ松本)
2月～3月 平成29年度卒業生代議員の選出
3月 2日(金) 卒業式に正副会長出席(キッセイ文化ホール)
卒業生に記念品として「卒業証書ホルダー」を贈呈
23日(金) 学校職員送別会に正副会長出席(アルモニービアン)

平成三十年度 同窓会役員名簿

Table with columns: 役職, 氏名, 卒業年. Lists board members including 顧問, 顧問(校長), 参与, 会長, 副会長, 副会長(教頭), 副会長, 副会長(事務局長), 常任理事, 監事, 会計, 会計(事務局長), 理事, 学校職員.

平成29年度 松本美須々ヶ丘高等学校同窓会 一般会計決算書

収入総額 15,697,464 円
支出総額 13,368,789 円
差引残額 2,328,675 円

Table 1: 収入の部. Columns: 科目, 予算現額, 収入済額, 差額, 摘要. Rows include 1 会費, 2 諸収入, 3 繰越金, 4 繰入金.

Table 2: 支出の部. Columns: 科目, 予算現額, 支出済額, 予算残額, 摘要. Rows include 1 活動費, 2 積立金, 3 予備費.

Table: 特別会計(積立金) 残高報告. Columns: 28年度末残, 29年度増減(増, 減), 残額, 摘要.

平成30年度 同窓会定期総会が開催されました。



中村一郎会長挨拶



保坂美代子学校長挨拶



新旧役員紹介

平成30年6月16日(土)ホテルモンターニュ松本に於いて、約110名の会員の参加により、平成30年度同窓会定期総会が開催されました。

提出議案について、すべて原案通り承認されました。

第5号議案では、任期満了に伴う正副会長の選任について、平成24年度より6年間会長として同窓会活動を導いてこられた中村一郎さんが退任し、副会長の小林磨史さんが後任の会長として承認され、理事の大沢千尋さん、須澤稔さんが副会長として、承認されました。

また、新たに平成3年卒の青柳浩一郎さん、大野一夫さん、田島 学さんの3名が理事に就任しました。

総会終了後は、平成6年卒のシンガーソングライター Deshico さん(本名：関 貴史)のスペシャルライブがありました。書き溜めた歌の中から数曲を、繊細にダイナミックに歌いあげ、人々を魅了しました。今後のご活躍を期待し、応援していきたいと思えます。その後の懇親会も時の経つのを忘れて旧交を温め、大いに盛り上がりました。

そして、校歌を斉唱し、次年度幹事学年への引継後、再会を期して会を閉じました。



中村前会長と小林新会長



中村前会長へ百瀬副会長より感謝を込めて花束贈呈

Deshico スペシャルライブ

【Deshico プロフィール】

Deshicoは歴史ある城下町、長野県の松本市で生まれた。山や川などの大自然、そして両親や多くの兄弟に囲まれて育ち、幼少時より周りとの「つながり」を強く感じながら松本美須々ヶ丘高校を卒業し、大学へ進学。最初に楽器に触れたのは20歳だった。

そこから音楽にのめり込み、オリジナル曲を約150曲以上創作。その中からセレクトを重ねて完成したアルバム「REVOLUTION」を携え、東京、大阪、名古屋などでライブ活動を続け、全国ツアー展開を目指している。

◆公式ホームページ <http://deshiko.com>



幹事学年を代表して花束贈呈



全員で輪になって校歌斉唱



幹事学年による「校歌頌」の引継 (S56年・H3年からS57年・H4年へ)



次年度幹事学年を代表して挨拶

県外在住の皆様

ふるさと納税により母校の支援ができます!

～ 「ふるさと信州寄付金」の制度を利用して
母校の教育環境充実にご協力を～

- ☆ お寄せいただいた寄付金は、ふるさと納税制度による税制上の優遇措置が適用されます。
- ☆ 1万円以上の寄付をされた場合、信州ブランド品が贈呈されます。

寄付の方法は?

- ① 「寄付申出書」にご記入の上、記載の送付先へお送りください。
 - ② “ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」” から、インターネットによる申し込みもできます。
- ★ いずれの場合も、「寄付金の活用を希望する長野県の取り組み」の選択肢から、12番「その他の希望」を選び、カッコ内に【松本美須々ヶ丘高校の教育環境の充実】とご記入ください。
 - ★ 上記により、お寄せいただいた寄付金は県から母校へ予算配当され、学校設備等の充実のために活用されます。

【ようこそ母校へ ～先輩の話を聞く会～】

6月7日(木)の午後「ようこそ母校へ～先輩の話を聞く会～」が開催されました。

16名の卒業生をお招きし、それぞれ活躍されている職業について1、2年生を対象に講義していただきました。

生徒達は、16講座の中から関心のある職業を2講座選択し、5・6時間目に、それぞれ1講座ずつ受講しました。

〈16の講座の内容〉

- ① 養護教諭 ② パティシエ ③ サッカースクール主宰
- ④ 建築士 ⑤ 理学療法士 ⑥ カフェ経営 ⑦ 病院看護師
- ⑧ 新聞記者 ⑨ 銀行員 ⑩ 短大職員 ⑪ 現代美術家
- ⑫ 訪問看護師 ⑬ 社協職員 ⑭ 体育教員
- ⑮ サクソフォン奏者 ⑯ 保育士

各講座では、講師が今の職業を選択した理由、その実現にはどのようなことをしていけばよいのか、実際にその職業に携わった感想、後輩に今後頑張ってもらいたいことについての話がありました。

在校生にとって、身近な先輩たちのお話は、進路を考える際に大いに参考になったのではないのでしょうか。



講師全員で記念撮影

貴重なお話を有難うございました。
皆様のますますのご活躍を期待しています。

第71回 双蝶祭

(H.30年7月7日開催)

「挑戦と団結」をコンセプトとした『蝶々結び』が今年のテーマです。

今年もやりました!!! 「同窓会による豚汁サービス」心配された雨も降らず、涼しい曇り空の下で、約400食を提供しました。



皆様、お疲れさまでした。

平成30年度の母校支援の状況

H30年12月現在

学校	美須々ヶ丘セミナー負担金	
	「朝日けんさくくん」利用料補助	
	「ようこそ母校へ～先輩の話を聞く会～」開催支援	
クラブ・生徒会	書道	FKパネル
	美術	美術室カーテン
	野球	鉄レーキ 散水用ノズル
	ハンドボール(男女)	ゴールネット
	バドミントン	ポータブルネット(練習用)
生徒会	ソフトテニス	審判台
	ボランティア活動保険	
		小体育館用茶幕

9月29日(土)に予定されていた学校整備共同作業は、台風24号の接近により、作業に支障が生じる恐れがあるため中止となりました。

平成三十年度 美須々ヶ丘セミナー 「地域について学ぶ信州学講座」

第七回セミナー (十月二十六日)

松本市の地域づくりと地域共生社会

～時代の変化をどう乗り越えるか!?～

松本市教育部長 矢久保 学氏 (本校S52卒)

「松本市について」次のテーマで講演していただきました。

- 一 岳都 学都 楽都という三つのガクを掲げる松本市の概要
- 二 松本市はどのように評価されているか
- 三 (最近の話題として)松本城外堀の平面整備
- 四 松本城と城下町は松本人の誇り
- 五 超少子高齢化・人口減少社会のリアル
- 六 松本市における超少子高齢化・人口減少の進展と人口ビジョン
- 七 松本市は「超少子高齢型人口減少社会」をどう乗り越えようとしているか
- 八 地域共生社会の構築を目指したこれからの地域づくり
- 九 地域包括ケア体制と市民生活相談窓口
- 十 変化する社会をどう生き抜くか

松本市は、市民満足度が高く、全国的にも成長可能性が高いということでした。また、松本城外堀平面整備計画の現状や新博物館建設計画についても説明をしていただきました。そして、将来の課題として超少子高齢化の

時代を乗り越えるために「健康寿命延伸都市・松本」を理念として、人・生活・地域・環境・経済・教育・文化の各分野の健康をめざすビジョンなどを、ご講義いただきました。



講座終了後の記念撮影
保坂学校長 小林会長 福島元会長
矢久保 学氏 工藤教頭

第八回セミナー (十一月三十日)

『留学生の目から見た松本』 (シリーズ三回目)

信州大学松本キャンパスに留学している学生十二名と美須々生のグループ交流会

信州大学留学生十二名

(韓国・ベトナム・マレーシア)

学校紹介VTR(本校放送部制作)上映後十二グループに分かれ交流会を実施しました。

自己紹介後、留学生より留学の目的・将来の夢、松本の印象、生活での違和感などを、生徒からは自分の住んでいるところの紹介や高校生活で頑張っていること、松本でおすすめの場所や食べ物を紹介するなどの内容で会話が弾みました。

留学生は来日して半年という方から四年ぐらいまでの方と幅はありましたが、どの方も日本語がとても上手で、はじめ緊張気味の生徒もすぐに打ち解けて、どうやって日本語や英語を学んだか質問するなど、笑顔が絶えませんでした。



平成30年度 クラブ活動の主な大会報告

学芸クラブ

FMC 演劇 合唱 写真 吹奏楽 ダンス 美術 書道 放送 情報処理 生物 被服
漫画 華道 茶道 映画研究

放送	NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会出場 ラジオドキュメント部門、ラジオドラマ部門、アナウンス部門、朗読部門	吹奏楽	吹奏楽コンクール県大会 銀賞 FMC 高文連パワーライブ県大会・高文連パワーライブ県フェスティバル出場
演劇	全国高等学校総合文化祭演劇部門 優秀賞(文化庁長官賞) 全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演 出場	写真	県高等学校写真展出展
ダンス	県高等学校総合文化祭ダンスフェスティバル 最優秀賞 " 全国交流ステージ出場	書道	県高等学校書道展出展 長野県県展(特選1 銀6 銅7) 高野山競書大会 (南山賞1 推薦1 特選3 準特選4 金7 銀7)
合唱	NHK全国学校音楽コンクール高等学校の部県大会 銀賞 全国高等学校総合文化祭 文化連盟賞 東京国際声楽コンクール高校生アンサンブル部門 本選大会出場 第2位 " 高校1, 2年生(独唱)部門 東日本准本選出場	美術	全国高等学校総合文化祭美術工芸部門出展 県高等学校美術展出展

運動クラブ

弓道 剣道 サッカー 水泳 野球 陸上 ソフトテニス 卓球 ソフトボール
バドミントン テニス バasketボール ハンドボール パレーボール フットサル

長野県高等学校総合体育大会	北信越高等学校体育大会
弓道(男女) 団体、個人	水泳(男子) 200m自由形 200m個人メドレー 400m個人メドレー 敦賀市
サッカー	水泳(女子) 200mバタ 400mメドレーリレー 400mリレー 800mリレー
バスケットボール(男子)	陸上(男女) 男子4×100mリレー 女子100m 福井市
パレーボール(男子) ベスト16	長野県高等学校新人体育大会
パレーボール(女子) ベスト16	弓道(男女) 団体、個人
テニス(女子) 個人	サッカー
ソフトテニス(女子) 団体 個人	バスケットボール(男子)
陸上(男女)	バスケットボール(女子)
卓球(男子) 個人 ベスト16	パレーボール(男女) 男女共県大会出場
バドミントン(男子) 団体	テニス(男子) 団体 ベスト16
ソフトボール ベスト8	陸上(男女)
ハンドボール(男女)	卓球(女子) 団体
剣道(男子) 団体	ソフトボール
水泳	ハンドボール(男女)
全国高等学校野球選手権県大会	剣道(男子) 団体
野球	

平成30年度 生徒会活動紹介

- 6月5日 春季クラスマッチ
- 6月7日 ミスズっ子ミーティング
- 6月11日 松本盲学校との交流
- 7月6~9日 第71回 双蝶祭「蝶々結び」
来場者 2日間 2,084名
- 7月30日~8月10日 福祉施設ボランティア活動
訪問先
①北部デイサービスセンター
②東部デイサービスセンター
③北ふれあいホーム
④ふれっ手⑤浅間児童センター
⑥あがた児童センター
- 9月2日 視覚障害者施設「ふれっ手まつり」
ボランティア活動
- 10月6日 松本盲学校文化祭訪問
- 10月11日 ミスズっ子ミーティング

美須々ヶ丘 優秀賞に

全国高校演劇 創作の一人芝居

第六十四回全国高等学校演劇大会が九日、上田市交
流文化芸術センターサント
ミューゼで開かれ、松本美
須々ヶ丘高演劇部が関東ブ
ロック代表として、シエー
クスピアの「マクベス」を
基に創作した一人芝居「M
夫人の回想」を上演し、優
秀賞に輝いた。

七日から三日間の日程で
開催され、全国の十二校が
出場。県内からは、開催県
代表として木曾青峰高も参
加した。

「M夫人の回想」は、武
將マクベスの夫人が幼少期
や夫との出会いを振り返り
つつ、夫に王の暗殺を教唆
したり知人の殺害に手を染
めたりして、罪の意識にさ
いなまれる物語。二年の下

一人芝居を演じる松本美須々ヶ
丘高2年の下畑さん(上田市中

畑美歌さん(こが)十人以上
の登場人物を演じ分け、残
る部員は裏方に徹した。

下畑さんは「賞にこだわ
らず、私たちもお客さんた
ちも楽しめる演劇にできれ
ば」と舞台に立った。脚本を
着いた演劇部顧問の郷原玲
教諭(こが)は「部員が少なく、
仕方なく一人芝居にした。
せりふが多いところが難し
かったと思う」と話した。

最優秀賞は香川県の丸亀
高、優秀賞は松本美須々ヶ
丘高など三校が選ばれた。

この四校は二十五、二十六
日に東京の国立劇場で開か
れる全国高等学校総合文化
祭優秀校東京公演に出演で
きる。(城石愛麻)



一人芝居を演じる松本美須々ヶ丘高2年の下畑さん(上田市中)

中日新聞に掲載された記事
他、各紙でも紹介されました

同窓会貸与のマイクロバスは、
大会出場、遠征試合など
各部の活動に大いに寄与しています。



男子バスケットボール部員



進路状況 (平成29年度末 延べ人数 浪人含む)

【国公立大学】 25名							
信州大学	3	長野県立大学	2	公立諏訪東京理科大学	2	都留文科大学	2
和歌山大学	1	北見工業大学	3	長野大学	1	長野県看護大学	3
石川県立大学	1	秋田県立大学	1	電気通信大学	1		
山梨県立大学	2	福井県立大学	2	長岡造形大学	1		
【私立大学】 214名 (一部抜粋)							
獨協大学	4	帝京大学	10	明治学院大学	1	愛知学院大学	1
神田外語大学	1	東京家政大学	4	神奈川大学	9	中京大学	2
順天堂大学	2	東京経済大学	8	東海大学	5	名古屋外国語大学	2
青山学院大学	1	東京農業大学	5	新潟医療福祉大学	4	南山大学	1
亜細亜大学	1	東京理科大学	1	金沢医科大学	1	日本福祉大学	4
工学院大学	4	東洋大学	8	金沢工業大学	10	藤田保健衛生大学	1
国土館大学	1	二松学舎大学	1	山梨学院大学	3	京都産業大学	4
駒澤大学	1	日本体育大学	2	佐久大学	3	同志社女子大学	1
成蹊大学	2	日本大学	6	清泉女学院大学	5	同志社大学	2
成城大学	1	法政大学	3	長野保健医療大学	3	龍谷大学	1
専修大学	8	武蔵大学	1	松本大学	19	近畿大学	2
大東文化大学	3	明治大学	1	愛知大学	1	西南学院大学	1
【公立短期大学】 4名							
大月短大	3	三重短大	1				
【私立短期大学】 40名 (一部抜粋)							
青山学院女子短大	1	上智大学短大部	2	東海大学医療技術短大	1		
飯田女子短大	1	信州豊南短大	1	清泉女学院短大	3		
長野女子短大	2	松本大学松商短大部	5	松本短大	9		
【専門各種学校】 71名							
看護医療系	18	その他分野	53				
【就職】 8名							
セイコーエプソン(株)	1	松本市役所	1	甲信越エア・ウォーター(株)	1	(株)ハーモニックドライブ・システムズ	1
(株)五千尺	1	(株)LIXILトータルサービス	1	長野県警察	1	ニッキトライシステム(株)	1



本校創立100周年記念誌「美須々のころ」(校歌CD付)

1冊 5,000円

会員名簿 (H29年版) 1冊 4,700円

ご購入希望の方は事務局までご連絡ください。

美須々教育会館(同窓会館)をご利用ください。

ご利用希望の方はご連絡ください。 学校 TEL 0263 (33) 3690

スタッフ募集!

事務局TEL & FAX 0263 (33) 2560

事務局員は毎週火・木曜日の10時から15時まで勤務しています。

総会の他に学年やクラスで懇親会を開催されていることと思います。その時の写真やコメントをデータにて事務局にお寄せいただければ、同窓会ホームページに掲載し、活動の様子を紹介させていただきます。

編集後記

▼今年度の定期総会での役員改選により、中村一郎さんが退任し、副会長の小林磨史さんが新会長に、二名の理事が副会長として承認されました。新たに三名の方が理事に就任しました。これまで事務局として至らない点も多々あり、中村前会長さんにご指導をいただきながら、何とか務めてまいりました。本当にお世話になりました。有り難うございました。

▼総会後のライブイベントでは、Desticoさんのソロコンサートが催され、松本で過ごした高校時代までの思い出などを語りながら、家族への思いや、現在の生活の中での心情を歌ってくれました。▼美須々ヶ丘セミナーでは松本市の現状と将来像を学び、市民として何ができるかを考える良い機会となりました。▼新体制になった同窓会の益々の発展のためにも皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。(事務局)

寄付金のお礼とご報告

今年度も多くの関係者の皆様からご支援を頂きました。この場をお借りしてご報告するとともに、改めてお礼申し上げます。

○卒業生の皆様からの寄付
S 51年・S 52年卒業生の皆様から寄付を頂きました。両学年とも「還暦同窓会」において参加者のご賛同を受けてお申出いただいたものです。本校の教育活動の充実、同窓会活動の振興のために活用させていただきます。

○演劇部「東京公演」出場に対する支援
昨年八月、演劇部OG・OB三十一名の皆様を代表して二名の方が来校され、信州総文祭「優秀賞」受賞に伴う「東京公演」出場に対する支援として寄付を頂きました。総文祭及び東京公演参加費用に活用させていただきます。

○長野県が実施する「ふるさと信州寄付金」
「松本美須々ヶ丘高校の教育環境の充実、新しい学びの活用」に対する支援を目的とした寄付を頂きました。来年度の予算化に向け、県で準備を進めています。